Subaru Net

昴ネット SUBARU NET

思いやりと感性に
あふれた医療で
地域社会の信頼に
応えよう

第4号
2018.12

医療法人社団 昴会

昴ネット SUBARU NET
Vol.4 ● 2018

もくじ

2. 前回の市民公開講座について

3. 巻頭特集
地域に根差した質の高い医療を目指して　仲　成幸

5. 特別対対談
能登川病院小児科インタビュー　辻井　久・石川　依子

8. 湖東記念病院　放射線科
内藤正寿技師『GE社製CTイメージコンテストでアプリケーション賞』受賞！！
MRI棟 造設について、GE社製の最新型MRI導入

10. リスタあすなろ
栄養科の紹介、施設での行事

11. 保育所だより

12. 昴会看護部
今回は・・・日野記念病院看護部を紹介します！

13. スマイル医療講座の紹介
～平成30年6月よりスマイル医療講座が放映中！！～

14. 昴会・随想録
日野記念病院の進化と深化　花澤　一芳

15. 新任医師の紹介
地鎮祭

表紙の写真について

現在東近江スマイルネットにて放送中の「スマイル医療講座」の第1回目の収録を撮影させていただきました。
写真の人物は当能登川病院、眼科の吉田医師とキャスターの合田都さんです。
収録当日はリハーサルから本番まで見学しましたが、普段の生活ではお目にかかれない世界は興味深いことばかりで、本当に楽しかったです。
実際の放送も見ましたが、編集など「さすがプロ！」と感じました。
「スマイル医療講座」に関しては、13ページに紹介記事を掲載しておりますのでそちらも是非ご覧ください。

撮影・写真提供者　能登川病院　総務課　澤居

前回の市民公開講座について

平成30年5月13日（日）
八日市文化芸術会館にて、市民公開講座『第8回心臓病で命を落とさないために』を開催致しました。あいにくの天気でしたが、たくさんの市民の皆様に参加していただきましたことをこの場をお借りし、お礼申し上げます。

今回は、京都大学医学部附属病院 循環器内科 木村剛教授を特別講師としてお招きし、「心筋梗塞の予防と治療」をテーマにご講演いただきました。また、タレントの赤井英和さん（元プロボクサー）がボクシングの試合で負った外傷性脳出血の体験と治療のお話をして下さいました。
その他、湖東記念病院 循環器内科 武田輝規医師による「狭心症の早期発見と最新治療」、脳神経外科 平井久雄医師による「脳梗塞の最新治療」の講演も行われました。
会場の皆様からは、「わかりやすかった」と大変ご好評をいただきました。
市民公開講座は、年に2回行われています。次回は平成30年12月9日（日）に能登川コミュニティーセンターにて開催予定です。市民の皆様にわかりやすく、気軽にご参加いただける講座となっておりますので、皆様お誘いあわせの上、ご参加いただけますようお待ちしております。

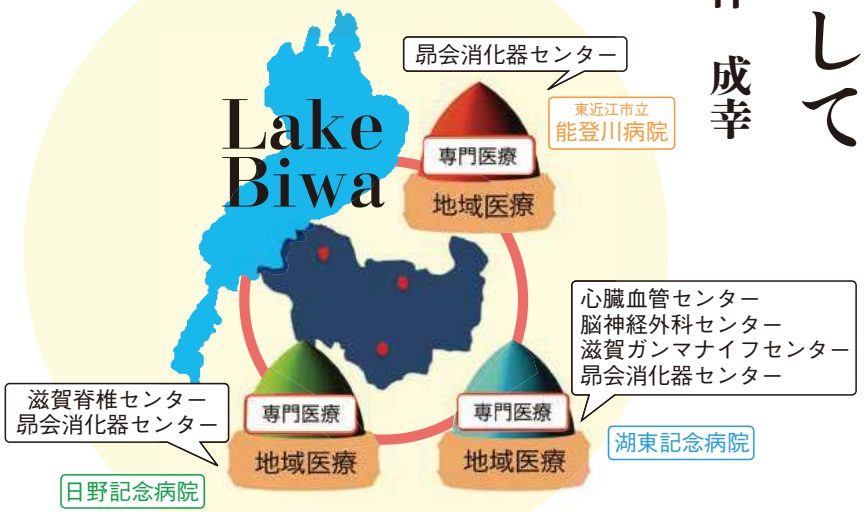
巻頭特集

地域に根差した質の高い医療を目指して

医療法人社団昴会　日野記念病院　院長代行　仲　成幸

医療法人社団昴会の日野記念病院、湖東記念病院、東近江市立能登川病院は滋賀県内に現在7つある保健医療圏のひとつである東近江保健医療圏の中でトライアングルを形成しています。この東近江保健医療圏は、人口は大津、湖南に次ぐ23万人、面積は湖北に次いで広く琵琶湖から鈴鹿山脈に至る広い範囲をカバーしています。地域としては少子高齢化が進んでおり、今後を見据えた効率の良い医療体制作りが求められています。増加する高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるように地域包括ケアシステム（住まい・医療・介護・予防・生活支援）の構築は喫緊の課題となっています。加えて、若い世代も含めた全ての住民がこの地域で安心して暮らしていけるような、急性期医療から慢性期医療までを含めた質の高い医療が求められていることは言うまでもありません。

昴会の3病院は病床数としては合計381床あり、各々の特徴を活かしながら連携することで、広範囲にわたる医療圏の中で効率的な医療を地域に提供出来るように取り組んでいます。質の高い専門医療への取り組みとしては日野記念病院に滋賀脊椎センター、昴会消化器センター、湖東記念病院に心臓血管センター、脳神経外科センター、滋賀ガンマナイフセンターを設けています。脊椎の手術件数は県内最多で全国ランキングにも入っています。また、心臓カテーテル治療件数は県内で最も多く、心臓手術、脳腫瘍に対する手術と脳動脈瘤治療件数もそれぞれ県内トップクラスで近畿でも有数の症例数となっています。このように地域医療の担い手となる基盤を有した小回りの利く規模の病院が、各々特化した機能を持ちながら連携することにより、地域包括ケアシステムおよび急性期専門医療にも



きめ細かく対応できる良質な医療を提供することを目指しています。

昨年新たな取り組みとして「昴会消化器センター」が日野記念病院を中心として設立されました。3病院のうちどの病院を受診しても、病院間で横断的に協力しながら消化器疾患を専門体制で受け入れることを目的として運営されています。消化器内科・消化器外科・放射線科・病理診断科・内視鏡センター・健診センターのそれぞれの専門医が対応し診断および治療を行います。このため、必要に応じて各病院間で患者の搬送や医師の移動を行っています。

消化器内科・内視鏡センターでは消化器内視鏡による消化管疾患の精密な診断、がんの早期発見に努め、極力苦痛の軽減するために、通常内視鏡や経鼻内視鏡、薬剤使用による鎮静下の内視鏡も行っています。治療方針としては根治性を損なわない限り、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）や内視鏡的粘膜切除術（EMR）などの低侵襲治療を行います。胆道・膵疾患については、総胆管結石・悪性胆道狭窄などの胆道疾患に対するドレナージ術・切石術、膵疾患に対する診断治療を行っています。

消化器外科では胃がんおよび大腸がんに対しては積極的に腹腔鏡下胃切除、腹腔鏡下大腸切除を行っています。進行したがんに対しては抗癌剤治療や腹腔内温熱化学療法（HIPEC）を行っています。肝がんに対しては腹腔鏡下肝切除、ラジオ波焼灼療法（RFA）、カテーテルによる塞栓療法および抗癌剤治療を病状に合わせて選択しています。膵がんおよび胆道がんに対しては手術による切除および抗癌剤治療を病状に合わせて行っています。日野記念病院は日本がん治療認定医機構認定研修施設であり、以上のような専門的ながん治療を行っています。胆石症については腹腔鏡下胆嚢摘出術をはじめ鏡視下手術による低侵襲治療を行っています。急性腹症、腹部外傷などの腹部救急疾患も24時間体制で受け入れが出来るよう医師の待機制を採用しています。その他、鼡径ヘルニアについては腹腔鏡下ヘルニア修復術を行っいます。

滋賀県は平均寿命、健康寿命で日本一になりましたが、県民一人当たりの医療費は全国で44位と最低ランクとなっており、「健康長寿で医者要らず」の地域となっています。また、滋賀県は琵琶湖を中心に自然に恵まれ、美味しい食べ物も沢山あり、東海道、中山道、北陸道が交わり利便性も良く暮らしやすい土地柄と言えます。さらに良質な医療により「医・食・住」が整うことになり、地域住民が安心して暮らせる街づくりが出来ると思います。良い街ができれば、人口の減少にも歯止めがかかり、産業の誘致・発展にもつながるという好循環が生まれるのではないでしょうか。これからの日本における地方社会では地域に根差した質の高い医療を核とした新しい街づくりが求められていると思います。

東近江市立 能登川病院（指定管理）
NOTOGAWA MUNICIPAL HOSPITAL

特別対談

小児科

小児科インタビュー

石川依子 医師

能登川病院にて毎週月は午前中、水・金・第4木曜は午前・午後に診察を行っています。発達外来は予約制となります。

辻井 久 医師

毎週月・火・金の午前と月～金の午後に能登川病院で診察を行っています。

正反対!?

「おふたりが医師、さらに小児科医を目指した理由は何ですか」

辻井―僕はいつも外来診察時にも子どもに「将来何になりたい？」って聞いているんです。

そういう僕は、なかなか決められなかったんです。高校の頃はパイロットになりたかったし、建築も好きだったし、法学も勉強したかった。ひとつに決められなかったので、とりあえず医学部に行こうと。後々またやりたいことが出てきたら、その時考えればいいかなと時間稼ぎのようでした。でも医学部に行ってよかったです。

小児科医を目指したのは子どもは純粋で診察がしやすいからですね（笑）

石川―私は小さい時は保育園の先生、小学生の時は小学校の先生になりたかったんです。ずっと子どもと関連する仕事がしたかったんです。

それで、高校の時なんですが、近所に子どもの体と心を診る女性医師が開業しておられたんです。その先生に憧れて、小児科医になるため医学部に入りました。

―最初から、子どもの体と心を診るという目標を目指されていたのですね。

辻井―最初から目標に向かっているから純粋ですね。僕なんて消去法ですからね（笑）

―動機が正反対ですよね。（笑）

石川―実は私、児童精神科医か小児科医かで迷っていたんです。児童専門の精神科医って滋賀県は少ないんですよ。でも、生まれ出た子どもの成長を見つつ、心のケアができればと思い、小児科医になりました。結果としてこの道でよかったと思っています。

小児科の魅力

「小児科の魅力を教えてください」

辻井―こどものときから大人まで長くお付き合いができるのが魅力ですね。1番長い子だと30年以上診ている子もいます。もちろん内科なんかでも長くお付き合いする場合もあるのでしょうけど。子どもはどんどん成長するので、その過程が見られるのも魅力ですね。

石川―私は能登川病院3年目ですが、子どもさんが百人いたら、百通りの心と体の成長があるんです。大人の場合は最初から完成された状態ですけど、子どもの場合は自然な変化があるのが楽しいです。例えば、お母さんにベッタリの男の子が、思春期前になったらちょっとうっとうしそうにしたりとか、毎回受診する姿に変化があるとか。

成長途上で、周りの環境によっても姿が変わりやすいからこその難しさもありますが、「成長したなあ」「たくましくなったなあ」と感動することも多く、一緒に伴走しているような感覚です。

助かった命が助ける側に

「医師になってから1番思い出深いエピソードを教えてください」

辻井―昔、24週の未熟児で生まれてきた子がいて、すごく危険な状態がずっと続いていたんです。その子はもう半分諦められていたような状況だったんですけども、なん

とかその子の生命力の強さで蘇ってくれた。後遺症もなく、退院してからはお兄ちゃんを泣かすくらいわんぱくな子になってくれて、その後何度も一般病棟に入院するのですが、私にとり、今に至る喘息治療の事始め、私の医道の礎です。

医者は患者さんに育てられますね。そろそろ成人しておられるでしょう。

さらに昔、死線を彷徨う28週の超低出生体重児さんが無事生還され、僕みたいな小児科医になりたいということで今医大に行ってるんです。医者冥利に尽きます。本当によく生きてくれたと思っています。

—先ほどの石川先生の目指した憧れの先生みたいですね。

石川—そうですよね。しかも自分の未来を創ってくれた先生ですよね。

辻井—その時は諦めてはいけないということを逆に教えられましたね。今後が楽しみで本当に医者になってよかったと思いました。

石川—私は以前、紫香楽病院に勤めていました。そこには、長期の療養病棟に重症心身障がい児・者さん達がおられて、併設の養護学校に通われているんです。

滋賀県は小学5年生になると琵琶湖で学習船「うみのこ」に乗って一泊二日の宿泊体験学習をします。

その子達も行くんですけど、てんかんの発作が起きるかもしれない、呼吸状態が悪くなるかもしれない、敏感な子は船の振動や音で混乱してパニックになるかもしれない、一日何種類も内服薬がある、流動食しか食べられない子や注入食の子もいるなど、問題が山積みなんです。

そのとき、私「うみのこ」に同船できたんです。小児科医って、患者さんと診察室か病棟でしか会わないんですね。だから、「うみのこ」で自然な状態のその子達が見られたのはすごく貴重な体験でした。

でも、私が全判断をしなければならないこともあり、緊張もしました。

普段の診察で、おねしょする子は、大抵「うみのこ」までになんとかしたいと相談に来られるんです。私、滋賀の出身じゃないんですけど「うみのこ」に乗っているので、「トイレや寝るとこはこんなのだよ」とか「ご飯はこんな感じ」とか話しています。安心していただければいいなって思いますね。

—何が幸いするかわかりませんね。

石川—行く前は、さまざまな議論や手続きがありました。養護学校だけでなく、他の学校からも参加されますから。でも、養護学校の先生方がすごく頑張ってくださったんです。もし、私が参加できなかったら、養護学校の子ども達は乗ることができなかったかもしれないんです。

人生で小学5年生の一度しか体験できない、貴重なイベントですよね。子どもたちが普段見せる顔と違う本当にイキイキとした様子を見ることができて、良かったです。

診察の心得とは？

「普段から小さいお子さんに気をつけていることや心がけていることはありますか」

辻井—小さい子に気をつけていることは「お友だち」になることですね。怖がられないように同じ目線というか、その子の理解が深まるような接し方をしています。中には無口な子もいますが、そんなときはお母さんを介して、子どもの生の声を聞けるようにしています。

あとは家族構成であったりとか、キーパーソンは誰であるとかそういうことを考慮して診察をしています。

最初は外来に入ってくるのも嫌がり、連れ去られるように入ってくる子も、友だちになったら向こうから来ていろいろ話してくれますからね。

石川—赤ちゃんでも、まだ言葉が出ない子

でも、その子に一言かけるようにしています。まだ言葉自体は理解できないかもしれないけど、診察に来たときはその子が主役なので。

もう少し大きい子の場合でも、大抵お母さんがお話ししてくださるんです。でも、その子に少しでも話してもらいたいので、何か引き出そうと心がけています。

服とか靴下の柄は重要ですね。研修医のときに、「小児科医は流行っているキャラクターには詳しくないといけない」と言われたんです。緊張している子でも、そのキャラクターの名前を言ったら、ご機嫌になってくれます。

辻井—僕は逆に、そのキャラクターの名前なんて言うの？って聞いたりします。教えてもらってそれが話す糸口になりますので。

今後について

—今後、能登川地区でこういった医療を目指したい。こういった貢献をしたいなどありますでしょうか

辻井—今春から能登川病院で病児保育が始まりました。本来なら、子どもが病気のときは両親は休めるような社会システムがあれば良いですが、病気悪化を予防しつつ、現状に沿った日常生活を母子共に行えるように日々努めていきます。

とうの昔に還暦は過ぎましたが「初心忘るべからず」の気持ちで予防医学に心し、子どもと共にありたいと思います。

石川—私は、発達支援センターの先生からいただいた年賀状に「これからも地域の親子さんにとって、身近で安心できる場所であってください」と書いてくださっていて、それを今後もモットーにしていきたいと思っています。いわゆる開業医さんでもなく、もっと規模の大きい病院でもない、この能登川病院だからこそできる診療というのがきっとたくさんあると思うんです。「身近」というのがすごくキーポイントで、子どもが主役とはいえ、それぞれの親子さんの安心のため、安心の場所になりたいと思っています。

—前回（昴ネット3号）、外科の長谷川先生も「能登川病院は規模は大きくないけどその分患者さんと距離が近い」と言っておられました。

最後に一言・・・

—最後にこのインタビュー記事を読まれる方にメッセージをお願いします

石川—昴会の小児科外来は、常勤も非常勤もいますが、みんな揃うとそれぞれ専門分野が幅広く、すごいチームだと思います。日野記念病院、湖東記念病院、能登川病院は距離はありますけど、今の時代はやり取りも簡単にできますし、共になにか取り組めないかと思っています。

辻井—これから電子カルテが入ります。解決するべきことも多いですが、こちらで診察したことを別の昴会の病院の先生に見てもらう、家の近くの病院で検査をして、その結果を違う病院で見ながら診察できたりなど、方法はあるのではないかと思います。

石川—将来的にはそういった機能などをうまく使って、よりよい医療を提供して地域に還元できたらいいなと思います。

辻井—地域の方に喜んでもらえるようにしていきたいです。

両先生ありがとうございました

湖東記念病院
KOTO MEMORIAL HOSPITAL

放射線科

湖東記念病院放射線科には、放射線科医師2名、診療放射線技師10名、事務員1名が在籍しており、24時間365日緊急の検査にも対応しています。

CT検査は1日30～40例程度、年間では千例以上の心臓CT検査、450例前後の大動脈造影検査、300例前後の頭部3DCTA検査を行っています。

また、MRI検査は月に350例前後の検査を行なっており、急性期脳梗塞など緊急を要する場合も対応しています。

放射線科では、一般撮影、CT、MRI（11月からは2台）、X線TV検査、心臓カテーテル検査、RI検査、脳アンギオグラフィ検査、ガンマナイフ、外科用イメージ（整形オペ等）と多岐にわたる検査等を行っていますが、各科の要望に応える為にスタッフが一丸となって取り組んでいます。

内藤正寿技師『GE社製CTイメージコンテストでアプリケーション賞』受賞！

この度、国内のGE社製CTイメージコンテストでアプリケーション賞を頂きました内藤です。コンテストでは、CT装置とワークステーション（画像構築する為の専用パソコン）を用い、画像の質や撮影条件を考えて発表します。アプリケーションスペシャリスト20人による審査の結果、応募総数約100例の中から受賞者2名の中に入ることができました。日頃、練習してきた技術が賞に結びついたことを率直に嬉しく思っています。

去年もコンテストに参加しましたが、落選してしまいました。国内の方々の受賞作品を拝見すると、ワールドカップの様に高い壁がありました。その悔しさをバネに、クオリティに磨きをかけて今年再挑戦し、結果を出すことができました。

脳神経外科の先生方から術前シミュレーションの画像に高い評価をいただいていますが、今後はさらにより良い画像を提供できるように頑張っていきたいと思っています。

相馬理事長より昴会からの表彰をいただきました！

MRI棟 造設についてGE社製の最新型MRI導入

この度、全国では3台目、西日本では初めてのGE社製の最新型MRI（アーティスト）が湖東記念病院に導入されます。

現在のMRI装置は開院当初（平成12年）から使用しており、平成19年には現在の装置へ高性能化しました。当時のものとしては最先端の装置であり、従来よりも半分の時間でMRアンギオグラフィなどが撮像できました。しかし、平成25年に日野記念病院がGE社製MRIを、能登川病院がキャノン製MRI（当時は東芝製）を導入したことで、湖東では撮像が難しい一部の検査を日野記念病院、能登川病院に委ねざるを得なくなりました。そのため、患者さんに移動などのご負担をおかけしておりました。

この度の最新型MRI導入につきましては、既存の検査室に新しい装置を導入すると2か月程MRI検査が出来なくなり、患者さんにさらにご迷惑をおかけする事になる為、新たにMRI棟を造設して装置を設置するに至りました。

これまでのMRIは、車のクラクションと同程度の激しい騒音の中の検査であり、高齢者、小児の患者さんには負担が大きいものでした。今回新しく導入するGE社製の装置では、ささやき声や置き時計の秒針と同等で、音のしないMRI検査が可能になります。また、下肢動脈や腎動脈のMRアンギオグラフィ、心臓MRIや非造影パフュージョン（従来は造影でのみ検査可能）が撮像できるようになります。まもなく新装置が稼働となります。今後とも患者さんひとりひとりに向きあいながら検査していきたいと思います。

MRI検査について居出医師よりコメントを頂きました

MRIは磁石を使用し、CTは放射線を利用して画像を撮像します。

・MRI検査とは？CTとの違いは？

CT（computed tomography）は「コンピュータ断層撮影」と和訳され、人体などの輪切り画像を撮像するものです。MRI（magnetic resonance imaging）を日本語にすると「核磁気共鳴映像」となって、ますます何のことか解らなくなってしまいます。

MRIもCTいずれの場合でも、寝台に寝そべり、大きな筒の中に入って検査が行われる点では共通しており、機械の外見もよく似ています。違いとしては、CTはレントゲン写真と同じように、人体に放射線をあて、放射線の吸収程度の差異を白、黒、グレーなどの色の違いに置き換えることによって画像が作られますが、MRIは大きな磁石を使用して画像を作る装置です。この磁石の使用が、放射線を当てて画像を作るCTとの大きな違いです。MRIは磁石を用いて磁場を生じさせることで、体内の水素分子の状態や密度を画像化します。人体の70％は水でできており、水には水素分子が多く含まれています。MRIの機械で磁場を作り、水素分子を一定の方向に向かせ、それにパルス状の電磁波を断続的に与えることにより、水素分子が電波を放出します。その電波を信号化して画像を作ります。このように両者は根本的な仕組みが全く異なる、全く別の検査なのです。

・MRI検査でわかることは？

癌ができたり、出血や梗塞をおこしたり、炎症がおきたりすると、その部分の水素分子の密度や動きやすさが正常部と比べて変化するので、この違いが異常として画像に現れてきます。MRIが得意とする分野に頭部があげられます。特に急性期の脳梗塞はCTにての診断が困難ですが、MRIでは発症30分で診断が可能となります。

また、筋肉や骨などの形態評価にも優れていて、椎間板ヘルニアや関節の病気の診断にも威力を発揮します。

検査前の注意
・MRIが禁忌になるのは？

体内に金属、例えば、ペースメーカーや人工内耳などが入っているときです。最近のペースメーカーではMRI施行が可能な機種が出ていますので、検査前に機種の特定が必要となります。各手術で用いられる金属や心臓ステントなどは、近年開発されたものはMRI対応のものがほとんどですが、ステントの場合、入れた直後は動いてしまう可能性がありますので、3か月ほど経過してからが安全とされています。歯のインプラントは材質が様々で、受けられるものと受けられないものが混在していますので、手術を受けた歯科医での確認が必要となります。入れ墨やメークにも金属が含有されており、まれにやけどをすることがあります。妊娠初期にては、胎児への安全性が確認されていないという理由で、検査を避けることが多く、妊娠5か月以降から可能とするのが一般的です。

・造影剤を使用するにあたっての注意は？

腎機能が定められている基準以下（eGFR30ml／min以下）の場合、喘息がある場合（造影剤アレルギーを生じる可能性が高くなる）に造影剤の使用は原則禁忌です。造影剤アレルギーは、蕁麻疹が出たり、喘息発作のような症状を生じたり、血圧が下がったりする症状をおこすのですが、死に至るような重篤な造影剤アレルギーの頻度は100万人に1人程度とされています。

・最後に・・・

検査を受けるにあたり、いろいろと疑問に感じることや不安を感じることも多いと思います。主治医や看護師、検査担当放射線技師にどうぞ遠慮なく質問してください。

保育所だより

株式会社ＭＩＥは昂会様の委託を受け、各病院近隣で24時間保育を行っています。
長時間を保育所で過ごす子どもたちが楽しく安心した毎日が送れるよう、
各所でさまざまな取り組みをしています。

日野記念病院保育所

近くの公園にお散歩。
シロツメクサの中で「はい、ポース！」

子どもたちは水が大好き。
「気持ちいい！」「冷たい！」

湖東記念病院託児所

大人気の手作りおもちゃ。
年齢に合わせて作っています

砂場に水を入れて、
泥んこ遊びみんな大喜びです！

桜が満開の道を
楽しく歩きました

能登川病院保育所

手作りのひな祭りの衣装です♪

みんなでおやつを
作っています

指先を使う手作り
おもちゃで器用に遊べるように
なりました

介護老人保健施設 リスタあすなろ
RISUTA ASUNARO

栄養科の紹介

利用者さんにとって、食事は楽しみの一つです。
当施設では管理栄養士の計画により、個々に合った食事を
提供しています。10時と15時には水分補給のためだけではなく、
楽しみのための様々なおやつの提供を心がけています。
四季折々の年中行事や季節を感じていただける食事メニュー、
ご自身で選んでいただくセレクトメニューなどを
ご用意しております。

いつも丁寧に
食事を作ってくれている
調理中の風景です。

利用者さんの笑顔が見られる
食事内容を考えて、365日
作ってくれている栄養科
スタッフです。

栄養だけではなく、
季節も感じてもらえる
よう工夫しています。
七夕の日の食事では、
そうめんを楽しんで
いただきました。

施設での行事

利用者さんに楽しんでいただけるよう様々な行事を行っています。
その一部を紹介させていただきます。

～フラダンス披露～

当施設では、様々なボランティアの方に活動していただいております。今回、ヴァアヒラ滋賀のみなさんにお越しいただきました。素敵な衣装を身にまとい、華麗なフラダンスを披露して下さいました。フラダンスを初めて近くで見る利用者さんも多くおられ、熱心に見ておられました。

～日野中学生職場体験～

日野中学校の生徒さんが、デイケアでの職場体験に来てくれました。利用者さんと話しながら、一緒に牛乳パックを使用して七夕の飾りを作り、歌や体操に参加する体験をしてもらいました。数日でしたが、利用者さんも生徒さんと楽しそうに過ごされていました。

昴会看護部

今回は・・・日野記念病院看護部を紹介します！

当院は「地域密着完結型医療」を目指すと共に
脊椎・消化器・救急医療に力を注いでいます。
そして私たち看護部は、患者さん一人ひとりを笑顔でお迎えし、
「やさしく思いやりのある看護」を実践し、安心して医療を受けることができるように看護を提供していきたいと思っています。

【A病棟】
内科・小児科・泌尿器科・皮膚科の急性期や回復期、終末期の患者さんが入院されます。小児から高齢者まで様々な年齢の方に対応し、担当看護師制を導入して退院されるまでの間、心をこめてお世話させていただいています。
また、当院地域医療連携室と地域のケアマネジャーや多種職の方々と連携して、退院後も患者さんやご家族が安心して生活できるよう支援しています。

【B病棟】
外科・乳腺外科・整形外科・耳鼻科・歯科・口腔外科・眼科、主に手術を目的とした患者さんが入院されます。急性期から回復期、慢性期まで広く対象とするため、様々な状況下で迅速な対応が求められます。
いかなる場合においてもチームワークと笑顔を忘れず、患者さんやそのご家族に寄り添い看護をできるよう、日々取り組んでいます。元気！やる気!!B病棟!!!です(*^^)v

【C病棟】
脊椎専門病棟で首・腰など脊椎脊髄疾患の手術・治療を行っています。県内はもちろん県外からも患者さんが入院されています。
患者さんが安心して手術を受けられ、入院生活を快適に過ごしていただけるよう、質の高い看護を目指し日々努力しています。

【D病棟】
療養型病棟（D病棟）は、医学的管理および介護を提供しています。「在宅復帰の取り組み」や「機能回復」を目標に医師および理学療法士、栄養士、薬剤師など病院内専門職種とチームアプローチを行います。
さらに、地域の諸サービスと連携しながら看護、介護を実践しています。

【外　来】
いつでも、どんな時でも安全に不安なく診療介助・対応をします。
地域との連携を図りながら、心の通った支援をします

【手術室】
手術室は3階にあり部屋は3室です。
消化器外科・乳腺外科・脊椎・整形・眼科・泌尿器・耳鼻科・形成・皮膚科・口外の手術を年間約1,000件以上行っています。
手術を受ける患者さんの不安を少しでも軽減できるように“安全と安心”を第一に考えスタッフ一同取り組んでいます。

スマイル医療講座の紹介

平成30年6月より東近江スマイルネットのコミュニティチャンネルにて「スマイル医療講座」が放送中です！

この番組は能登川病院や湖東記念病院、日野記念病院の医師がよくある病気や気になる症状などについて啓発や解説を行います。
全12回を予定しており昴会3病院が4回ずつ番組を担当致します。
この番組の存在を知らなかった方はぜひご覧ください。

放送回	所属病院	診療科 医師名
第1回	能登川病院	眼科 吉田
第2回	能登川病院	眼科 吉田
第3回	能登川病院	眼科 吉田
第4回	能登川病院	眼科 吉田
第5回	湖東記念病院	心臓血管外科 髙島
第6回	湖東記念病院	心臓血管外科 髙島
第7回	湖東記念病院	外科 服
第8回	湖東記念病院	外科 服
第9回	日野記念病院	外科 東田
第10回	日野記念病院	外科 東田
第11回	日野記念病院	外科 仲
第12回	日野記念病院	外科 仲

放　送　日

第1回	平成30年 6月11日(月)～6月17日(日)	第7回	12月3日(月)～12月9日(日)
第2回	7月9日(月)～7月15日(日)	第8回	平成31年 1月14日(月)～1月20日(日)
第3回	8月6日(月)～8月12日(日)	第9回	2月11日(月)～2月17日(日)
第4回	都合により中止となりました	第10回	3月11日(月)～3月17日(日)
第5回	10月8日(月)～10月14日(日)	第11回	放送日未定
第6回	11月5日(月)～11月11日(日)	第12回	放送日未定

放　送　時　間

月曜日	18:15～	19:15～	22:15～	23:15～			
火曜日 金曜日	9:15～	12:15～	15:15～	18:15～	19:15～	22:15～	23:15～
土曜日 日曜日	10:15～	13:15～	16:15～	19:15～	22:15～		

収録の裏側を少しだけお見せします！

写真は第２回収録時のものです。
吉田先生もだいぶ慣れられたようで、収録もスムーズに終わりました。
回を追うごとに先生が慣れていく様子を見るのも楽しいかも!?

キャスターの合田都さんと本番前に1枚

本番前に入念なチェックを行う吉田医師

昴会・随想録

ルイビル大学留学
（児玉正智教授御夫妻・ポーク教授御夫妻）

交換留学生時代　母親とハワイにて

大学の手術室にて

日野記念病院の進化と深化

日野記念病院院長　花澤　一芳

小生が日野記念病院に勤務し約10年余となった。この間病院は色々と変化してきた。就任直後に直面したのは、産科医師の県内減少（派遣大学）によりやむ無く2年間の暫定的猶予をもって産科病棟の閉鎖せざるを得なかったことである。この結果をうけて外来診察へ移行した。当時医師不足が全国的な問題となっており、公的機関病院及び属する診療科閉鎖も大問題となっていた。当然東近江医療圏（約23万人）の各病院においても医師不足の解消は重要課題であった。現在でも滋賀県の人口比率に対しての医師数は全国で34位と少ない状況が継続している。当時地域再生医療会議も頻回に行政主導の下で開催された。この危機的な状況の中、当時又は現在副院長である森　麻美、山田　伸一郎、青木　茂、内藤　弘之（敬称略）はもとより各科診療部長が当病院を並々ならぬ努力で献身的に支え続けていただいた。時は移り、高橋　忍　先生が滋賀脊椎センターを樹立され当病院が大活性化された。当に新化／進化であった。更に既存の診療科も更に深化（deepning）／新化したと思っている。昴会も東近江市立能登川病院（指定管理）、湖東記念病院、日野記念病院の3病院となり経営基盤も進化（evolusion）してきた。

そもそも私は若かりし頃、自分の時間をより有効的な審査的な投資に解放してきた。波は座していてもやってこない。自分で何か波をおこしながら何らかの事業、創業にと夢を見てきた。結果的には「わらしべ長者」の「わらしべ」でとどまっている。むしろこれに満足していると言ったほうが良いであろう。今医療はこの「わらしべ」の貧困時代に類似している。飲まず食わずに働いても働いてもなかなか患者さんには評価されない。一医師としては昔と比較し一抹の寂しさを感じている（私見）。多分これも違う意味での医療の深化であろう。人工知能（AI）が単純労働を代替し、人間が好きなことだけをやって自由に生きられる時代がくるであろう。医師がAIに代替されることはない（将来は実質的に管理者は必要でなくなるであろう、経営者は絶対必要）にせよ、頻雑な無駄な業務をする必要もなくなり、患者さんと直接かかわる時間が増えるであろう。またこれらにより診断、治療、手術、処置に専念できる。患者さんに対する思いやり、込めた思いは古今変わらない（真化）。日野記念病院には、緒先輩が築いて来られた良き（善き）伝統と日野記念病院独自のお家芸がある。具体的には、即行力、結束力、寛容力である。日野町民（東近江医療圏）の皆様の希望の未来（医療、介護、福祉）を決めるのは日野記念病院の進化と深化にかかっている。

新任医師の紹介

①ハマッていることと、ハマったキッカケを教えてください。
②一番行きたいところと、その理由を教えてください。
③疲れやストレスが溜まった時のリフレッシュ法、又は普段から行っている健康法を教えてください。
④最後に一言よろしくお願いします。

日野記念病院

麻酔科
早藤（はやふじ）　昌樹（まさき）

平成30年4月16日～ 新任

①最近はテレビでもラグビーのゲームを放送してくれるようになりました。フォワードがライン参加したり、バックスがモールに加勢したり、臨機応変に動くプレーヤーを見ているとチームワークを感じます。少しルールが分かると作戦なども見えてきて興味深いです。今思いおこせば高校の体育の時間でしたが、タックルされる直前にパスを出した時はカイカンでしたね。②ワールドカップ（ラグビーの）決勝戦。All blacksを倒そうと挑戦する選手たちを見てみたい。③ストレスを感じてもお酒では解決出来ないので特に何もせず早く眠るようにしています。眠りにくい時は難しい本が良いです。④手術室でも手術の成功のために多くの人が関わっています。（All for one,one for all ですね。）自分だけではなく、チームとしてよりうまく機能することを目指したい。

湖東記念病院

整形外科
藤川（ふじかわ）ひとみ

平成30年6月～ 新任

①岩盤浴ヨガ。体に良さげかつストイックではないことをと思いつき開始しました。ヨガ後の大浴場での開放感にハマりました。
②ヨルダン。広大な大地と壮大な遺跡群に圧倒されたい、シ海で浮いてみたいです。
③本屋で自己啓発本を漁ること。足つぼマッサージに行くこと。
④6月より湖東記念病院に勤務させて頂いております。大学院生のため週3日の変則勤務ですが、より良い整形外科診療を提供出来ればと思っております。よろしくお願いいたします。

地鎮祭

平成30年7月24日に、（仮称）リスタあすなろ増改築工事の地鎮祭が行われました。施設敷地内の駐車場に増築し、1階は昴会院内保育所と訪問看護ステーション、2階には食堂兼レクリエーションルームが建設される予定です。来春の完成に向け、整備が進められていきます。

求人情報

あなたの笑顔とやさしい心を待っている患者さんがいます。
日野・東近江の地であなたの専門性を発揮してみませんか。
ご応募おまちしております。

医師、看護師、薬剤師、社会福祉士

その他職種の募集に関しては昴ホームページ又は、お電話にてお問い合わせください。

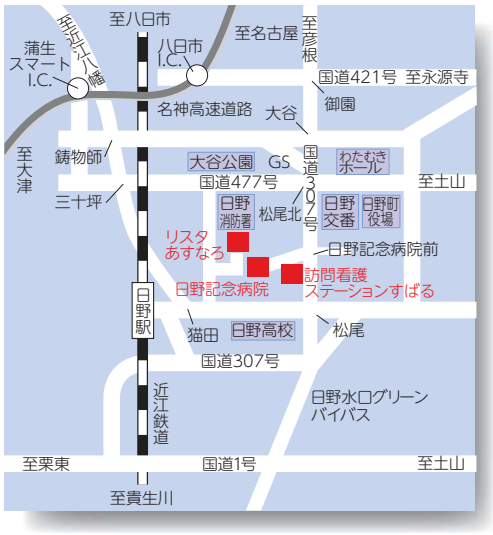
お問い合わせ
医療法人社団　昴会
〒529-1642 滋賀県蒲生郡日野町上野田200番地1 TEL 0748-52-8073
ホームページアドレス　http://www.subarukai.jp

医療法人社団 昴会グループ

【昴会本部】〒529-1642 滋賀県蒲生郡日野町上野田200番地1　TEL (0748) 52-8073　FAX (0748) 53-1206
ホームページアドレス　http://www.subarukai.jp　メールアドレス　jim@subarukai.jp

日野記念病院

住所：滋賀県蒲生郡日野町
上野田 200 番地 1
TEL：0748-53-1201
FAX：0748-53-1455
ホームページアドレス
http://www.hino-hp.jp



訪問看護ステーションすばる

住所：滋賀県蒲生郡日野町
松尾 988 番地 1
TEL：0748-52-8161
FAX：0748-52-8162
ホームページアドレス
http://www.subarukai.jp/sthino/

介護老人保健施設
リスタあすなろ
居宅介護支援事業所

住所：滋賀県蒲生郡日野町
上野田 246 番地
TEL：0748-52-6000
FAX：0748-52-6003
ホームページアドレス
http://www.subarukai.jp/cms_asunaro/

東近江市立
能登川病院（指定管理）

住所：滋賀県東近江市猪子町 191 番地
TEL：0748-42-1333
FAX：0748-42-6571
ホームページアドレス
http://notogawa-hp.siga.jp

湖東記念病院

住所：滋賀県東近江市平松町 2 番地 1
TEL：0749-45-5000
FAX：0749-45-5001
ホームページアドレス
http://www.koto-hp.jp

訪問看護ステーションすばる
サテライト湖東

住所：滋賀県東近江市平松町 2 番地 1（湖東記念病院内）
TEL/FAX：0749-45-2577